



## 平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年2月10日

上場会社名 秩父鉄道株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 9012 URL <http://www.chichibu-railway.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大谷 隆男  
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 坂本 昌己 TEL 048-523-3311  
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	4,230	△1.3	214	△16.8	199	△14.6	185	△11.5
26年3月期第3四半期	4,286	3.8	257	38.4	233	46.0	209	39.9

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 208百万円 (△55.2%) 26年3月期第3四半期 465百万円 (108.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	12.48	—
26年3月期第3四半期	14.11	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第3四半期	23,525	9,504	40.4	638.40
26年3月期	23,680	9,571	40.4	642.89

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 9,492百万円 26年3月期 9,560百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,800	3.6	120	21.2	100	37.0	80	40.4	5.38

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3項「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期3Q	15,000,000株	26年3月期	15,000,000株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	130,192株	26年3月期	128,953株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期3Q	14,870,929株	26年3月期3Q	14,869,908株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものはありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料2項「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8
5. 補足情報 .....	10
(参考) 鉄道事業旅客人員と旅客収入及び貨物トン数と貨物収入 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当社グループは、鉄道事業を中心に輸送の安全確保を最優先に取り組み、営業活動ではイベントの実施や沿線市町・同業他社等と連携した積極的な誘客活動を実施し、収益の確保に努めてまいりました。

当第3四半期連結累計期間の業績は、営業収益は4,230百万円（前年同期比1.3%減）、営業利益は214百万円（同16.8%減）、経常利益は199百万円（同14.6%減）、四半期純利益は185百万円（同11.5%減）となりました。セグメントの業績は次のとおりです。

## 〔鉄道事業〕

旅客部門におきましては、観光シーズン中の天候にも恵まれ、S L列車も順調に運行し多くのお客様にご利用いただきました。また、秩父札所午年総開帳に伴うハイキングの実施等により秩父地域への旅客の入込が伸びました。その他、秩父地域開通100周年を記念したイベントの開催や異業種と連携した企画など様々な旅客誘致策を実施したことにより、定期外旅客人員及び収入は前年同期に比べて増加いたしました。

貨物部門におきましては、輸送量の減少により前年同期に比べ貨物収入は減少いたしました。

一方、営業費用は前年度までに導入した省エネ車両の効果等から電力使用量が減少したことなどにより前年同期に比べ減少いたしました。

以上の結果、営業収益2,739百万円（前年同期比0.1%減）、営業利益は40百万円（同1.3%減）となりました。

## 〔不動産事業〕

不動産事業におきましては、分譲地販売及び修繕工事の受注が順調に推移したことにより販売収入、請負工事の収入は前年同期に比べ増加いたしました。賃貸収入は寄居駅前商業施設の契約終了の影響を受け前年同期に比べ減少いたしました。その結果、営業収益は295百万円（前年同期比14.2%減）、営業利益は115百万円（同34.3%減）となりました。

## 〔観光事業〕

観光事業におきましては、長瀬ラインくだりをはじめ各施設で工夫を凝らした様々なキャンペーンを実施した他、旅行会社への営業活動を積極的に展開いたしました。その結果、営業収益は279百万円（前年同期比5.2%増）、営業利益は38百万円（同83.7%増）となりました。

## 〔バス事業〕

バス事業におきましては、乗合路線の終了等により営業収益は314百万円（前年同期比5.0%減）となりましたが、営業費用の削減に努め営業利益は11百万円（同353.6%増）となりました。

## 〔その他事業〕

その他事業におきましては、営業収益は910百万円（前年同期比2.6%減）、営業損失は1百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結累計期間末における財政状態について、総資産は前連結会計年度末に比べ154百万円減少して23,525百万円となりました。流動資産は前連結会計年度末に比べ9百万円減少して1,742百万円、固定資産は同144百万円減少して21,783百万円となりました。流動資産減少の主な要因は、現金及び預金、受取手形及び売掛金がそれぞれ増加し、その他に含まれる鉄道事業にかかわる補助金の未収金が減少したことによるものであります。固定資産減少の主な要因は、有形固定資産が減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ87百万円減少し14,021百万円となりました。流動負債は前連結会計年度末に比べ248百万円減少し3,795百万円、固定負債は161百万円増加し10,225百万円となりました。流動負債減少の主な要因は支払い手形及び買掛金、短期借入金、その他に含まれる設備未払金がそれぞれ減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ67百万円減少し9,504百万円となりました。主な要因は、四半期純利益の計上的一方、退職給付に関する会計基準の適用に伴い利益剰余金が減少したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成26年11月7日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の算定方法についても、従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間および支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が275,978千円増加し、利益剰余金が同額減少しております。また、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	686,758	731,143
受取手形及び売掛金	376,582	463,782
分譲土地建物	237,223	213,059
商品及び製品	32,137	33,802
原材料及び貯蔵品	86,907	88,632
その他	335,875	213,669
貸倒引当金	△3,279	△1,598
流動資産合計	1,752,204	1,742,493
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,514,491	13,514,553
減価償却累計額	△9,049,849	△9,180,230
建物及び構築物（純額）	4,464,642	4,334,322
機械装置及び運搬具	4,958,382	4,890,993
減価償却累計額	△4,249,716	△4,239,600
機械装置及び運搬具（純額）	708,666	651,392
土地	15,640,954	15,640,954
その他	653,001	687,324
減価償却累計額	△585,929	△576,297
その他（純額）	67,072	111,027
有形固定資産合計	20,881,335	20,737,697
無形固定資産	124,233	106,731
投資その他の資産		
投資有価証券	880,811	897,145
繰延税金資産	2,553	2,328
その他	58,005	59,754
貸倒引当金	△19,012	△20,632
投資その他の資産合計	922,358	938,595
固定資産合計	21,927,927	21,783,025
資産合計	23,680,132	23,525,518

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	280,811	168,415
短期借入金	1,233,498	1,220,000
1年内返済予定の長期借入金	1,283,064	1,180,937
未払法人税等	17,030	12,739
未払消費税等	32,814	146,892
繰延税金負債	175	195
賞与引当金	196,504	113,411
その他	1,000,498	953,272
流動負債合計	4,044,397	3,795,864
固定負債		
長期借入金	2,765,626	2,576,770
繰延税金負債	274,306	279,655
再評価に係る繰延税金負債	5,315,762	5,315,762
退職給付に係る負債	1,546,219	1,884,002
特別修繕引当金	41,600	57,200
長期預り金	120,624	112,190
固定負債合計	10,064,139	10,225,581
負債合計	14,108,536	14,021,445
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	750,000	750,000
資本剰余金	21,936	21,921
利益剰余金	△907,866	△998,263
自己株式	△27,911	△28,129
株主資本合計	△163,841	△254,471
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	506,626	517,608
土地再評価差額金	9,294,814	9,294,814
退職給付に係る調整累計額	△77,197	△65,089
その他の包括利益累計額合計	9,724,244	9,747,333
少数株主持分	11,192	11,211
純資産合計	9,571,595	9,504,073
負債純資産合計	23,680,132	23,525,518

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
営業収益	4,286,531	4,230,819
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	3,006,709	2,989,926
販売費及び一般管理費	1,022,163	1,026,565
営業費合計	4,028,872	4,016,491
営業利益	257,658	214,327
営業外収益		
受取利息	80	222
受取配当金	9,209	11,531
物品売却益	1,510	956
土地物件貸付料	6,509	4,283
助成金収入	850	1,010
その他	17,795	21,442
営業外収益合計	35,955	39,447
営業外費用		
支払利息	55,761	50,828
その他	4,454	3,667
営業外費用合計	60,216	54,495
経常利益	233,397	199,279
特別利益		
固定資産売却益	—	6,347
工事負担金等受入額	34,040	4,562
特別利益合計	34,040	10,909
特別損失		
固定資産圧縮損	34,040	4,194
固定資産売却損	1,624	—
固定資産除却及び撤去費	985	301
特別損失合計	36,650	4,495
税金等調整前四半期純利益	230,788	205,693
法人税、住民税及び事業税	23,276	19,851
法人税等調整額	△2,280	244
法人税等合計	20,996	20,096
少数株主損益調整前四半期純利益	209,792	185,597
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△22	15
四半期純利益	209,814	185,581



（四半期連結包括利益計算書）  
（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	209,792	185,597
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	256,108	10,984
退職給付に係る調整額	-	12,107
その他の包括利益合計	256,108	23,092
四半期包括利益	465,900	208,689
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	465,841	208,670
少数株主に係る四半期包括利益	58	18

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年12月31日）

1. 報告セグメントごとの営業収益高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	鉄道事業	不動産 事業	観光事業	バス事業	計				
営業収益									
外部顧客 への営業 収益	2,733,728	339,615	264,711	330,935	3,668,990	617,541	4,286,531	—	4,286,531
セグメン ト間の内 部営業収 益又は振 替高	7,844	4,983	740	37	13,605	317,351	330,957	△330,957	—
計	2,741,572	344,598	265,452	330,972	3,682,596	934,893	4,617,489	△330,957	4,286,531
セグメント 利益	40,706	176,341	20,899	2,446	240,394	4,832	245,227	12,431	257,658

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、索道事業、タクシー事業、卸売・小売業、建設・電気工事業及び旅行業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整12,431千円には、固定資産未実現損益の消去額734千円、セグメント間取引消去11,696千円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自平成26年4月1日 至平成26年12月31日）

1. 報告セグメントごとの営業収益高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	鉄道事業	不動産 事業	観光事業	バス事業	計				
営業収益									
外部顧客 への営業 収益	2,728,323	290,828	278,839	313,678	3,611,670	619,148	4,230,819	—	4,230,819
セグメン ト間の内 部営業収 益又は振 替高	10,881	4,968	286	740	16,876	291,697	308,573	△308,573	—
計	2,739,204	295,796	279,126	314,419	3,628,547	910,845	4,539,393	△308,573	4,230,819
セグメント 利益又は損 失(△)	40,176	115,898	38,399	11,097	205,571	△1,348	204,223	10,104	214,327

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、索道事業、タクシー事業、卸売・小売業、建設・電気工事業及び旅行業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整10,104千円には、固定資産未実現損益の消去額895千円、セグメント間取引消去9,208千円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

5. 補足情報

(参考) 鉄道事業旅客人員と旅客収入及び貨物トン数と貨物収入

			当第3四半期 連結累計期間	前第3四半期 連結累計期間	増減率 (%)
旅客人員	定期	千人	4,201	4,204	△0.1
	定期外	〃	2,225	2,145	3.7
	計	〃	6,426	6,349	1.2
貨物トン数		千トン	1,730	1,751	△1.2
旅客収入	定期	百万円	590	594	△0.6
	定期外	〃	925	902	2.6
	計	〃	1,516	1,496	1.3
貨物収入		〃	1,028	1,041	△1.2